

- 1) 大島慶一郎, 2009 : オホーツク海と海氷 –その特殊性と重要性– 「朝倉世界地理講座–大地と人間の物語–2巻: 東北アジア」 朝倉書店, pp10-19
- 2) 山田芳則、藤吉康志、新井健一郎、2009 : ソフトウェア的な2つの原理を組み合わせたドップラー速度データの折り返し補正方法、天気、56 (9)、727-742 天気、56 (9)
- 3) 豊田威信, 2009 : 海氷研究の進展, 雪氷研究の系譜、日本雪氷学会北海道支部発行、77-80
- 4) 大島慶一郎, 2009 : 環オホーツク海研究の進展, 雪氷研究の系譜 –北海道の雪氷から世界の雪氷圏まで–, (社)日本雪氷学会北海道支部, 177-180
- 5) 石原正仁、藤吉康志、新井健一郎、吉本直弘、小西啓之, 2009 : 関西空港付近に発生したマイクロバーストの形態と構造 –空港気象ドップラーレーダー単独による自動検出とデュアル解析の比較–天気、56 (9)、755-761
- 6) 屋良由美子、藤井賢彦、山中康裕、岡田直資、山野博哉、大島和裕, 2009 : 地球温暖化に伴う海水温上昇が日本近海の造礁サンゴの分布と健全度に及ぼす影響評価, 日本サンゴ礁学会誌, 第11巻, p.1-10
- 7) 藤吉康志, 2009 : 北海道の降雪雲、雪氷研究の系譜–北海道の雪氷から世界の雪氷圏まで–, 日本雪氷学会北海道支部設立50周年記念誌 (解説)、52-56
- 8) 山崎孝治・池田元美, 2009 : 温室効果、および気候変化と水資源への影響, 持続可能な低炭素社会、吉田文和・池田元美編、北海道大学出版会、15-34.
- 9) 屋良由美子、藤井賢彦、山中康裕、岡田直資、山野博哉、大島和裕, 2009 : 地球温暖化に伴う海水温上昇が日本近海のサンゴ分布および健康状態に及ぼす影響評価, 日本サンゴ礁学会誌, 11, 131-140,
- 10) 中尾有伸、山野博哉、藤井賢彦、山中康裕、日本のサンゴ礁データベースの作成と分析, 日本サンゴ礁学会誌, 11, 109-129
- 11) 山中康裕、藤井賢彦、池田元美, 2009 : 地球温暖化の自然科学的メカニズム, 持続可能な低炭素社会, 1-13, 北海道大学出版会
- 12) 諫本有加、渡辺知恵美、堀之内武、西澤誠也, 2009 : GfdnaviにおけるRestfulなWebサービスの実装, 第1回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム/第7回日本データベース学会年次大会, B2-1
- 13) 宇都木玄、高橋正義、飛田博順、上村章、北岡哲、阪田匡司、鷹尾元、渡辺力、2009 : LIDAR データを用いた林冠攪乱強度と森林構造の関係、日本森林学会北海道支部大会論文集, 57, 69-71